

保護者アンケートの結果から(平成31年2月実施)

○「A：十分である」(5段階)と回答していただいた方が多かった質問項目ベスト5は、以下のとおりです。

第1位

「教職員の電話での対応や来訪時の対応は良い」(80%)

第2位

「防災計画を整備し、避難訓練を行うなど、災害時の児童生徒の安全確保に努めようとしている」(76%)

第3位

「こどもに応じた食物携帯が用意されたり、食事指導がなされたりしている。」(67%)

第4位

「児童生徒は、明るくいきいきと学校生活を送っている」(66%)

第5位

「教職員は、保護者の多様な意見を聞こうとしている」(64%)

「不審者対応など児童生徒の安全確保に努めようとしている」(64%)

※「子どものいのちを守る取組」をテーマとして、育友会と学校が協力して取り組む中で、食事指導を含めた衛生管理、防災や不審者対応等、安心・安全な学校づくりについて広くご理解をいただき、感謝いたします。また、本校教職員の対応についても、昨年度よりもさらに高い評価をいただき、うれしく思います。地域や保護者の方々に引き続き、ご支持をいただけるよう、児童生徒の成長のため、一層取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

校長から

保護者アンケートの結果から(平成31年2月実施)

○「A：十分である」と回答していただいた方が少なかった質問項目は、以下のとおりです。

「本校の考えが保護者に伝わっている」(32%)

「地域の人的・物的資源を積極的に活用している」(36%)

「児童生徒の障害のことや保護者の願い、家庭環境について、学部や学年間で引き継ぎができています。」(39%)

「児童生徒が将来社会人として、その発達に応じ、社会生活を送るための取組が各学部で行われている。」(40%)

※地域との関わりや継続的な支援に関して、課題があるところのご指摘だと考えています。平成30年度スタートした「きのくにコミュニティスクール」をさらに効果的に活用し、社会に開かれた学校づくりの観点で、授業や進路等も含め、地域の方々と協働した取組をさらに展開していきたいと考えています。

また、学校が目指している教育目標や方針等をさまざまな機会を活用し、発信していきたいと考えます。また、個々の児童生徒の自立と社会参加を目指し、教員の専門性を高めながら、継続した支援に取り組んでいきたいと考えます。

校長から